

(第5章 文化財の保存と活用の方針)

文化財の保存と活用に向けた基本方針

(1) 目指す将来像

長野市の歴史文化の特徴、文化財の保存と活用に関わる課題をふまえ、本計画が目指す将来像の実現に向けて、総合的な取組を進める。

≪長野市が目指す将来像≫

市内の文化財の価値と魅力を多くの市民が共有し、大切に使いながら将来に継承していくことで、市民にも来訪者にも魅力ある「長野らしさ」を活かした“歴史文化都市”を目指す

(2) 目指す将来像の実現に向けた4つの方針

・ **方針1 文化財を掘り起こす**

地域で守り伝えてられてきた多様な文化財を市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、魅力ある長野の歴史文化の特徴を広く共有していく

・ **方針2 掘り起こした文化財を保存する**

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。

・ **方針3 歴史文化の魅力を伝え活用する**

市内の多様な文化財の魅力を市民や来訪者（観光客等）に伝え、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。

・ **方針4 文化財が継承される仕組みを作る**

社会環境の変化による文化財の担い手不足や、文化財保存に関わる専門人材の不足、必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。

(3) それぞれに期待される役割

期待される役割	
文化財所有者	・所有する文化財を適切に保存すると共に、可能な範囲で公開し、多くの人とその価値を共有して次世代に継承していく役割が期待される
市民・民間団体	・文化財の近隣で暮らす人や興味がある人も保存活用の参加者 ・文化財を活かした交流人口が広がることで、保存活用を推進する原動力としての役割が期待される
来訪者	・来訪者が長野市の歴史文化の特徴を楽しむことで、口コミ等の情報発信や交流人口の広がり、新たなファン層の獲得が期待される
観光事業者	・文化財を活かした観光商品の開発や情報発信により、交流人口の広がり、地域の活性化が期待される
市(行政)	・社会全体で保存活用に取り組めるようなルールや方針を示し、市民・所有者と共有することが求められる ・総合把握された情報を集約し、データベースや広報活動を促進すること ・市所有文化財の適切な保存と積極的な活用を実践すること など
専門家	・文化財に関する相談対応や、修理・活用の助言、専門知識を持った人材の育成などの役割が期待される